

マンガを素材とする異文化理解教育の方法開発

因, 京子
九州大学留学生センター助教授

日下, みどり
九州大学比較社会文化研究院教授

松村, 瑞子
九州大学言語文化研究院教授

<https://hdl.handle.net/2324/16817>

出版情報：日下翠教授中国文学・漫画学著作集成，2005-03
バージョン：
権利関係：

日本語日本文化研修生教育改善研究会

金沢大学留学生センター

2004年3月

マンガを用いた日本語・日本文化教育の可能性

因 京子 (九州大学)

chinami@isc.kyushu-u.ac.jp

1. 中上級の日本語教育の課題

中級以上の留学生への日本語教育の目標として、次の二つの方向があげられるだろう。

- ① 専門の教育・研究の場への参加能力の獲得
- ② 多様な場面と表現意図に対応できる社会生活技能の獲得

①と②の大きな違いは、①で目標となる言語は誤解の余地がなるべく少ない論理的で明瞭な表現であるのに対し、②の対象となる言語は、文化的な価値観や発話場面の諸要因の影響を受けた含みのある表現であるという点である。実際の言語使用には教科書に出てくるような好意に基づいた礼儀正しい表現ばかりでなく、攻撃的な発話や挑戦的な発話もあり、また、間接性の高い表現、冗談や皮肉などの重層的な表現が含まれていることは改めていうまでもない。こうした発話を理解し、それに対応し、また、そうした表現を自分でも行うことのできる能力の獲得は、中級以上の日本語教育の大きな課題の一つであろう。専門教育に対応するための日本語の運用力の向上という緊急のニーズの前ではとかく看過されがちになるが、中上級以上においても体系的なコミュニケーション教育が必要であることを改めて認識する必要がある。そして、この目標のためには、直接的実用性の重視される昨今では影が薄いだが、ポップカルチャーの作品までを含めた広い意味での「文学的素材」が言語と文化の理解を進める上で果たす価値を再認識すべきであると考えられる。

2. 中級以上の学習者の会話理解の問題点とその背景

一応の運用力を身につけ日常会話には大きな問題のなくなった学習者たちは、しばしば自分の会話能力について、「理解には全く問題ないが、日本人の真意がわからないことがよくある」とか「言いたいことを直截なら言えるが、相手に応じて適切に言うのが難しい」などと訴える。本当に、理解には問題がないのであろうか？また、どうして場面に応じて表現を調整するのがそんなに難しいのであろうか。

発表者の行っているストーリー・マンガの読解作業を通じて観察した結果によれば、学習者はしばしば、発話意図を推定する手がかりとなる言語の文体的特徴及びその効果を見落としている。具体的には次のような項目に多くの問題が観察された：

- ・丁寧体と普通体の機能の解釈
- ・ジェンダー表現の機能、特に、異性語使用など、ストラテジーとしての用法の解釈

・表面的意味とは異なる意図を持つ発話の解釈、特に、親切的意図をもった攻撃的発話の解釈

・「謙虚さを重視する価値観」に基づく上位者の行動の解釈

実際の会話の場では意図や真意を推測することに成功している（と少なくとも本人は思っている）にもかかわらず音声のないマンガの読解には誤解が多いという事実から、実際の発話の理解の「成功」は音声や表情などから直感的に推測した、話者の自己判断の結果であって、言語形式と意図との関係や効果の生み出されるメカニズムについての明確な意識化の結果としての論理的な理解ではないということが示唆される。つまり、どのような意図がある場合にどのような形式が用いられるのか、また、実際の場面でどのような要因が解釈に影響を与えるのかなどについての知識が、規則または傾向として一般化されていないのである。規則として整理され、自らの発話において使用できる技術となっていないため、「適切に話すのは難しい」ということになるのだと考えられる。

中上級学習者の社会生活技能を向上させるには、話し言葉の効果の産生に関わるメカニズムに対する感受性と理解力を育てなければならない。そのためには、理想的なモデルを提示して応用的に模倣させるというような従来よく採られてきた方法では限界がある。遠回りのようでも、理解を徹底させる訓練、即ち、日本語の文体特徴の用法、言語行動を支える価値観、ポライトネスの実現の諸相などについて綿密に観察させ、発話の効果を生み出す要素とその相互作用のメカニズムについての意識化された理解を深めることが大切なのではないだろうか。この目的のためには、文学的素材、特に、話し言葉を大量に含む「ストーリー・マンガ」は利用価値が高いものと言えよう。

3. マンガ利用の方法開発をめざして

3-1 素材選択の条件

マンガ作品は無数にあるが、日本語教育の素材として有用なものを選び出すことは非常に難しい。素材選択の条件として、次の①-③が挙げられる。

- ① 現実的な設定の作品
- ② 多様な人間関係を含む作品
- ③ 考察や議論を行うための話題を含む作品

「社長を叱り飛ばしてしまえる OL」など、実際には存在し得ないスーパーヒーローが登場するような作品は、現実性に欠けるため、日本語の言語使用の様相を観察するには適切ではない。また、原則として子ども向きなのは、人間関係が単純で言語使用に影響を与える社会的要因を観察できないので適切ではない。学習者の動機を刺激するためには、学習者が強い関心や批判や共感を覚えるような出来事や人物を提示することが望ましい。発表者は、学習者が観察を次第に深めていくことを期待して、一つの学期には一つの主題を決めてその主題に関連した作品を用いるようにしている。これまでに

取り上げた主題と使用した作品は次のようである。

シリーズ1「OLはつらいよ」

『無印 OL 物語』原作：群ようこ、『9時から5時半まで』逢坂みえこ

『4階のミズ桜子』里中満智子、『うちのママが言うことには』岩館真理子

『つるばらつるばら』大島弓子

シリーズ2「日本の名作」

『ウは宇宙船のウ』萩尾望都、『ロングロングケーキ』『つるばらつるばら』『ダ

リアの帯』大島弓子、『雨柳堂夢咄』波津彬子、『私の人形はよい人形』山岸涼

子、『寄席芸人伝1』古谷三敏、『イグアナの娘』『半神』萩尾望都

シリーズ3「働く女たち」

『研修医なな子』森本梢子、『おたんこナース』佐々木倫子、『MAMA』池谷理

香子、『火消し屋小町』逢坂みえこ、『雲の上のキスケさん』鴨居まさね

シリーズ4「市井のヒーローたち」

『Dr.コトー診療所①』山田孝敏、『山口六平太』林律雄・高井研一郎、『家裁の

人』毛利甚八・魚戸おさむ、『怪傑トド課長』角橋康人、『ミスター味っ子』寺

沢大介

3-2 教材・学習項目

教材として、タスクシート（事前に個人で行う課題、原則として1作品の1エピソードにA3のシートが2枚）と語彙・表現クイズを作成している。タスクシートを与えるのは、学習者に、筋だけを追いかけるのではなく表現に着目した読み方をするように促すためと、学習者の解釈を把握するためである。

学習の対象となる言語的項目には次のようなものがあげられる。

表記に反映される話し言葉の音声変化（例：うっせー、ったく）

擬音語・擬態語・擬情語

流行語・俗語（例：ふっきれる、ちんたらする、せこい、時代を斬る）

古語・引用句（例：余韻覚めやらぬ、見ざる言わざる、色即是空）

談話標識、主観副詞（例：だから、だって、それが、せめて、まさか）

連語関係（例：なりゆきにまかせる、言いがかりをつける、融通を利かせる）

アイデンティティの表現と効果（例：ジェンダー、若者語、方言など）

ポライトネスの実現形態（例：わきまへの表現、意図的逸脱、自発的逸脱）

いろいろな言語行為の実現形態（例：ほめる、たしなめる、など）

使用される言語の場面による変化とその要因

文化的価値観については、ストーリーに応じて、学習者の積極的な発言を引き出せられると思われる部分についてタスクを考案している。

4. 今後の課題

マンガを利用していくときの課題としては、次の3つをあげることができる。

- ① 教材に適した作品の選定
- ② タスクの考案
- ③ マンガというジャンルについての評価への配慮

①②に関しては説明の必要はないだろう。③は、マンガという分野に特有の現象である。日本のマンガが他の国には類を見ないほどの発展を遂げ小説や映画などとも並ぶような表現分野としての地位を獲得しつつあることは、日本ではかなり認知されているが、外国では必ずしもそうではない。というより、多くの場合、レベルの低い子供向けの娯楽と思われているのが実情である。発表者が「マンガで学ぶ日本語と日本文化」のコースを始めた頃は「マンガを読む」ということを聞いた時点で受講登録をキャンセルした人もあった。実際に読み始めるとその学習上の利用価値だけでなく、作品そのものの面白さに夢中になり、中には「心理学の博士論文の中でこの作品を使うことにした」などという受講生もあったほどであるが、学習開始時には素材に対する敬意が必ずしもあるとは言えない。素材に敬意が持てるかどうかは意欲に影響すると思われるので、マンガを素材として用いる場合には、担当者は、日本のマンガ、特に、ストーリー・マンガと呼ばれる分野の日本における独特の発展経緯やマンガという表現手段の可能性について一通りの知識を持って、学習者に情報提供することが望ましい。また、改めて言うまでもないことであるが、単に読ませるだけでなく、話し言葉に関する知識を整理させるための基礎的研究の裏づけがなければならない。言語学的分析や実践的技能の体系的指導への見込みが教師の側に存在しない場合には、マンガのようなある意味でリスクのある素材を学習者が面白がるだろうという見込みだけで安直に利用するよりは、学習者がそれをとにかくも読んだと言うだけで一定の満足を得られるような評価の定まった名作を読む機会を与えるほうが良心的である。

参考文献

- 李奈娟・松村瑞子. (2003) 「日本語と韓国語における敬意表現」『韓日言語文化研究』第4巻、55-70、韓日言語文化研究会.
- 加藤秀俊 (2000) 「四つの自由化」国際交流金日本語センター編『日本語の開国』TBSブリタニカ
- ショット、フレデリック・L. (1998) 『ニッポンマンガ論』マール社
- 因京子 (2001) . 「マンガを用いた日本語教育の視点と方法」『韓日言語文化研究』第2巻、131-50、韓日言語文化研究会.
- _____. (2002) 「研究留学生を対象とする社会生活技能教育教材—専門日本語教育と

- 並ぶもう一つの課題—『韓日言語文化研究』第3巻、73-93、韓日言語文化研究会。
_____。(2003)「マンガに見るジェンダー表現の機能」『日本語とジェンダー』第3号、17-26、日本語ジェンダー学会。
- _____。(2004a)「ジェンダー表現の機能」『言葉のからくり：川上誓作教授体感記念論文集』773-85、英宝社。
- _____。(2004b)『マンガで学ぶ日本語：働く女性たち』九州大学留学生センター。
- _____。(2004c)『マンガで学ぶ日本語：市井のヒーローたち』九大学留学生センター
- _____。(2004d)「マンガ読解に見る韓国人学習者の日本語理解」『韓日言語文化研究』第5巻、63-88、韓日言語文化研究会
- _____ (印刷中)「日本語学習者の発話理解上の問題点」『比較社会文化』第11号掲載予定、掲載ページ未定
- _____ (印刷中)「マンガを用いた日本語教育の可能性」『アジア漫画研究』梓書院
- 直塚玲子 (1980)『欧米人が沈黙する時』大修館
- 藤原雅憲・初山洋介編 (1997)『上級日本語教育の方法』
- 松村瑞子・因京子。(1998)「日本語談話におけるスタイル交替の実態とその効果」『言語科学』第33号、109-18、九州大学言語文化研究会
- _____・_____。(2000)科学研究費補助金報告書『日本語の談話におけるスタイル交替の実態とその効果についての分析』
- Matsumura, Yoshiko, Kyoko Chinami and Soo-Jeon Kim (forthcoming) "Japanese and Korean Politeness: A discourse-based contrastive analysis", based on the presentation at the International Conference of Language, Politeness and Gender: the pragmatic roots, on September 3, 2004, at University of Helsinki.

日本語上級：マンガで読む日本社会

担当者：

授業日：

- 授業の目標
1. 日本語の会話に現れる文体的特徴とその意味についての理解を深める。
 2. 日本語の会話のストラテジーについての理解を深める。
 3. 日本社会の通念や文化的前提についての理解を深める。
 4. 観察したことやそれに対する自分の論評を客観的に叙述する力を伸ばす。

活動の内容：

- 授業前に：
- ①課題作品を、最低2度音読、必要な回数だけ黙読する。
 - ②作品についてのタスクを行う。(シートを配布する)
 - ③当番になっているときは、作品の概要を5分以内で発表できるようにまとめる。

- 授業では：
- ①当番が作品の概要を発表する(5分)
 - ②音読する。(役を割り当てる。評価の対象とする。)
 - ③理解を確認するために、質疑応答を行う。表現や内容について話し合う。
 - ④前の週に読み終わった作品中の語彙・表現についての小テストを行う。

評価の方法：最終試験は行わない。以下の4点によって評価する。

- ① タスク・シートの完成度 50%
- ② 小テストの結果 20%
- ③ 参加度(音読の巧拙、議論への積極的参加、出席) 20%
- ④ 期末レポート 10%

期末レポートは、授業で取り上げた作品の中から一つ(または複数)を選んで、その主題・表現手法・背景となっている社会事情・言語の特徴のどれかについて論じる。関係のない作品や現象を取り上げたものは評価しない。

締め切り：2月14日(月)

作品：『研修医なな子』森本梢子 YOU 特別編集 集英社漫画文庫①～④
『おたんこナース』佐々木倫子 ビッグスピリッツコミックス 小学館
『MAMA』池谷理香子 ヤングユーコミックス 集英社
『火消し屋小町』逢坂みえこ ビッグコミックススペシャル 小学館
『雲の上のキスケさん』鴨居まさね ヤングユーコミックス 集英社

活動予定 (変更することがあるかもしれない)

	対象作品	提出物	小テスト
1	コース説明	なし	なし
2	研修医なな子 CASE1 当番:	なな子 1	なし
3	研修医なな子 CASE 7	ななこ 7	なな子 1
4	研修医なな子 CASE65	なな子 65	なな子 7
5	おたんこナース カルテ 1	ナース 1	なな子 65
6	おたんこナース カルテ 4	ナース 4	ナース 1
7	MAMA No.1 前半	なし	ナース 4
8	MAMA No.1 後半	MAMA 1	なし
9	火消し屋小町 第1話	火消し 1	MAMA 1
10	火消し屋小町 第3話	火消し 3	火消し 1
11	雲の上のキスケさん Part1 前半	なし	火消し 3
12	雲の上のキスケさん Part1 後半	キスケ 1	なし
13	雲の上のキスケさん Part 7	キスケ 7	キスケ 1
14	グループでの作品音読発表	なし	キスケ 7